

## C-3 織物の皺の異方性について

京都女子大学 北田総雄○横超秀子

織物を衣服として着用する場合にしぼしぼ見受けられる皺には，経緯方向の他に構成系の方向と一致しない斜

方向の多くの皺があり，これらが衣服の外観を損う事は甚だしいものがある。織物の皺の回復はその構成繊維の機械的性質に非常に影響され，殊に斜めに折り曲げた時は糸による曲げ，捩れ等の重要な物理的現象が考えられる。我々は平組織の織物教種を主にして緯糸方向を  $0^{\circ}$  として反時計方向に順次角度を変えて試料を作り，monsanto 型の Crease Recovery Tester により織物の折り曲げ方向と皺とについて実験し，平均皺回復率を実験した角度に対して極座標で表し織物の皺の異方性について調べた。又無処理織物と防皺加工した処理織物について実験し，処理効果の影響をあわせ調べた。